

松江市総合計画
松江市まち・ひと・しごと創生第1次総合戦略

総合計画・総合戦略の実施状況

(平成30年度実績)

総合計画・総合戦略目標指標総括表

■平成30年度実績

種別	基本目標	指標数	評価A	評価B	評価C	評価D	評価できないもの
総合計画	人を大切に育てる	19	2	3	0	4	10
	個性の発揮と広域連携で輝く	14(5)	7	5	2	0	0
	誇りと愛着を生む	12	4	3	1	0	4
	安心・安全なまちづくり	19	6	10	1	0	2
合計		64(5)	19	21	4	4	16
割合		100%	29.7%	32.8%	6.3%	6.3%	25.0%

種別	基本目標	指標数	評価A	評価B	評価C	評価D	評価できないもの
総合戦略	まちを挙げて結婚・出産・子育てを応援し、若い世代の希望をかなえる	7	0	0	1	1	5
	地域資源を活用し、個性豊かで強靱な産業を創り上げ、安定した雇用を創出する	12	8	3	0	1	0
	松江の魅力に磨きを掛け、新しい人の流れをつくる	11	2	5	2	1	1
	時代に合ったまちづくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	10	2	4	1	2	1
	中海・宍道湖・大山圏域の連携強化により、日本海側の拠点をつくる	(5)	—	—	—	—	—
合計		40(5)	12	12	4	5	7
割合		100%	30.0%	30.0%	10.0%	12.5%	17.5%

【評価】 A：順調に推移

- B：概ね順調に推移
- C：やや遅れている
- D：遅れている

※実績値を集計中、あるいは隔年で数値を把握しているものなどは、今年度の評価ができないため、「評価できないもの」として分類した。

※また、()内の指標は中海・宍道湖・大山圏域市長会で検証を行っている。

【評価方法】

平成30年度目標値と実績値を比較して達成率を算出し、達成率が100%をA、99%～80%をB、79%～60%をC、59%以下をDに分類して評価したもの。

なお、両計画の最終年度は、総合計画が令和3年度、総合戦略が令和元年度である。それぞれの目標値については、両計画の最終年度において達成する目標値を設定しているため、平成30年度目標値は推定目標値を算出して評価を行う。

【概況】

平成30年の本市の年間出生数は、1,597人と過去最少となった。特に15歳から49歳までの出産年齢期にある女性人口は、平成17年から現在にかけて約5,500人の減少となっている。また、社会増減については3年連続プラスという良い兆しも見えるが、若年層の転出超過は依然として多く、特に、東京圏・関西圏・広島といった都市部への転出超過が続いている。

総合計画・総合戦略ともA評価及びB評価を合わせると、6割以上の目標指標は順調に推移していると言えるが、特に令和元年度が計画終期となっている総合戦略については、残された期間内で実効性を一層高めることができるよう、事業の実施手法などを精査しながら取り組むことが重要。

人口ビジョンに掲げる「出生数2,000/年、社会増270人/年」という2つの挑戦は非常に高い目標であるが、目標達成に向け人口の動向等を詳細に分析し、これに基づいた施策をしっかりと進める必要がある。

総合計画・総合戦略目標指標総括表①

総合計画	基本目標：人を大切に育てる <ul style="list-style-type: none"> ● 未来を担う次世代“人財”を育てる ● 自立を支えるセーフティネットの整備 ● 誰もが活躍できる社会の実現
総合戦略	基本目標：まちを挙げて結婚・出産・子育てを応援し、若い世代の希望をかなえる <ul style="list-style-type: none"> ● 子育て環境日本一実現プロジェクト ● 女性の活躍促進「一歩前へ」プロジェクト

■平成30年度実績

種別	指標数	評価A	評価B	評価C	評価D	評価できないもの
総合計画	19	2	3	0	4	10
割合	100%	10.5%	15.8%	0.0%	21.1%	52.6%
総合戦略	7	0	0	1	1	5
割合	100%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	71.4%

【評価】 A：順調に推移
 B：概ね順調に推移
 C：やや遅れている
 D：遅れている

※実績値を集計中、あるいは隔年で数値を把握しているものなどは、今年度の評価ができないため、「評価できないもの」として分類した

<概況>【総合計画の指標を基に記載】

5つの指標において「概ね順調に推移」以上となっている。特に「共創による事業の割合」、生活保護からの自立世帯数などが順調に推移している。一方で「年度途中の待機児童数」「小中学生の学力調査（全国平均値以上）の項目」については進捗が遅れている。

子育てについては、目標（出生数2,000人/年）には達していないため、待機児童の解消、ワークライフバランスの推進、女性の活躍推進などを進め、安心して子育てのできる環境づくりを更に進める必要がある。

また、魅力的な人材育成を行うことは、松江で子どもを産み育てたいという環境づくりに繋がるため、学力向上、ふるさと教育などの取り組みを推進していくことが必要である。

<目標達成に向けた取り組みの進め方>

●年度途中の待機児童数については0を目標としているが、数値は前年度に比べ改善したものの、依然として保育のニーズが高い（待機児童数337人：H31.3.1時点）。待機児童の多い地域や年齢などを把握し、保育士確保及び施設整備などの対策を講じる必要がある。出生数の推計値や保育所入所ニーズを年度ごとに算出し、待機児童が発生する見込みのある地域や年齢に対して重点的に入所可能枠の確保をしていく。

●共創・協働の手法を用いた市の事業割合は、目標の50%を上回り62.2%となっている。共創・協働研修会の開催や共創・協働パンフレットを活用し、市民に対して「共創」の理念・手法の浸透を図るとともに、職員研修により「共創」による事業の実践につなげていく。

松江市総合計画(2017～2021)基本施策の目標指標一覧・第1次総合戦略(2015～2019)数値目標・KPI一覧

総合計画 基本目標:人を大切に育てる								
基本施策	指標項目	指標の説明	策定時	平成28年度	平成29年度	平成30年度実績	H30年度評価	目標値R3年度
未来を担う次世代“人材”を育てる	学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てていると思う市民の割合	中学生、高校生、大学生、市民アンケートにおいて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合	59% (H27)	—	中63% 高55% 大53% 市55% (平均56.5%)	—	—	70%
	全国学力・学習状況調査における全国平均値以上の調査項目数の割合	小学校6年生、中学校3年生の国語(A・B)、算数・数学(A・B)、理科(理科についてはH24抽出、H27実施)における平均正答率の比較	(小)20% (H27)	(小)100%	(小)75%	(小)20%	D	(小)100%
			(中)40% (H27)	(中)50%	(中)0%	(中)0%	D	(中)100%
	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査中の質問「将来の夢や目標を持っていますか」における肯定的回答の割合	(小)84.8% (H27)	(小)84.4%	(小)86.3%	(小)85.0%	B	(小)90.0%
			(中)71.0% (H27)	(中)69.7%	(中)68.8%	(中)71.4%	B	(中)80.0%
	市民活動・地域活動への参画割合	市民意識調査において「あなたは、市民活動や地域活動に積極的に参画していますか」の設問に「参画している」と回答した市民の割合	51.3% (H24)	—	65.2%	—	—	60%
地域活動に参加した中高生の割合	中学生、高校生アンケートにおいて、「地域活動や行事」に参加した経験がある」と回答した割合。(「よく参加している」「たまに参加している」と回答した割合。)	69.9% (H28)	69.9%	中83% 高61% (平均72%)	—	—	80%	
子育て環境日本一の実現	子育て支援策の満足割合	市民アンケートにおいて、子育て支援の満足度の点数を%として換算した数値	55% (H27)	—	61%	—	—	80%
	安心して結婚がしやすいまちだと思う市民の割合	市民アンケートにおいて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合	32% (H27)	—	67%	—	—	65%
	安心して出産がしやすいまちだと思う市民の割合	市民アンケートにおいて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合	32% (H27)	—	68%	—	—	65%
	安心して子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	市民アンケートにおいて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合	32% (H27)	—	67%	—	—	65%
	年度途中の待機児童数	年度途中の待機児童数	245人 (H27)	415人	419人	337人	D	皆減
自立を支えるセーフティネットの整備	生活困窮者自立相談支援事業の新規相談受付件数	自立相談支援機関における生活困窮者自立相談支援事業の新規相談受付件数/年度	622件 (H27)	374件	223件	366件	D	650件
	生活保護からの自立世帯数	各種就労自立支援事業による生活保護からの自立世帯数/年度	37世帯 (H27)	38世帯 39世帯	53世帯	59世帯	A	75世帯
男女共同参画社会の実現	社会全体における男女の地位の平等感	「男女共同参画に関する市民意識調査」において、社会全体における男女の地位の平等感について「平等」と回答した市民の割合	13.8% (H27)	—	22%	—	—	30%
	男女の固定的役割分担意識	「男女共同参画に関する市民意識調査」において、男女の固定的役割分担意識に否定的な市民の割合	66.4% (H27)	—	60%	—	—	80%
誰もが活躍できる社会の実現	町内会などの加入率	市民意識調査において「あなたの世帯は、町内会などに加入していますか」の設問に「加入している」と回答した市民の割合/毎年4月30日	63.3% (H27)	62.4%	61.5%	60.7%	B	70%
	共創による事業の割合	総合計画における主要事業数を分母とし、共創の手法で行われている事業数を分子として算出する	16.8% (H27)	20.0%	57.5%	62.2%	A	50%
	広聴・相談体制の充実度	市民意識調査で「相談しやすい市役所になっているか」といった設問を設け「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合	45.1% (H27)	—	51%	—	—	70%

総合戦略 基本目標:まちを挙げて結婚・出産・子育てを応援し、若い世代の希望をかなえる								
重点プロジェクト	数値目標KPI	目標・KPIの説明	策定時	平成28年度	平成29年度	平成30年度実績	H30年度評価	目標値R1年度
	子育て支援策の満足割合	子育て支援策の満足割合 ※市民アンケート調査	55% (H27)	—	61%	—	—	80%
	女性の就業率 ※25～44歳の女性の就業率	25～44歳の女性の就業率 ※就業構造基本調査	77.6% (H24就業基本調査)	—	85.1%	—	—	80%
⑦子育て環境日本一実現プロジェクト	結婚希望割合	結婚希望割合 ※市民アンケート調査(10代～50代)	67% (H27)	—	70%	—	—	80%
	理想とする子どもの数	理想とする子どもの数 ※市民アンケート調査	2.5人 (H27)	—	2.6人	—	—	2.7人
	年度中途の待機児童数	年度中途の待機児童数 (各年度の3月1日現在・算出は国定義)	281人 (H26)	415人	419人	337人	D	皆減
⑧女性の活躍促進「一歩前へ」プロジェクト	男女共同参画推進宣言企業数	男女共同参画推進宣言企業数	(新規のため現状値なし)	36社	40社	45社	C	90社
	指導的立場にある女性の割合	指導的立場にある女性の割合	16.7% (H24就業基本調査)	—	23.1%	—	—	20%

総合計画・総合戦略目標指標総括表②

総合計画	基本目標：個性の発揮と広域連携で輝く <ul style="list-style-type: none"> ●きらりと光る元気な企業・事業者を育てる ●地域と食を支える農林水産業の振興 ●地域が元気になるしくみづくり ●今ある社会資本の活用と必要な社会資本の整備 ●観光文化産業の魅力向上とインバウンド強化 ●中海・宍道湖・大山圏域の連携推進
総合戦略	基本目標：地域資源を活用し、個性豊かで強靱な産業を創り上げ、安定した雇用を創出する <ul style="list-style-type: none"> ●きらりと光る元気な企業群づくりプロジェクト ●農林水産業の成長産業化プロジェクト ●観光産業のバージョンアップ・インバウンド強化プロジェクト 基本目標：中海・宍道湖・大山圏域の連携強化により、日本海側の拠点をつくる

■平成30年度実績

種別	指標数	評価A	評価B	評価C	評価D	評価できないもの
総合計画	14(5)	7	5	2	0	0
割合	100%	50.0%	35.7%	14.3%	0.0%	0.0%
総合戦略	12(5)	8	3	0	1	0
割合	100%	66.7%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%

【評価】 A：順調に推移

B：概ね順調に推移

C：やや遅れている

D：遅れている

※実績値を集計中、あるいは隔年で数値を把握しているものなどは、今年度の評価ができないため、「評価できないもの」として分類した

※（ ）の指標は中海・宍道湖・大山圏域市長会で検証を行っている。

<概況>【総合計画の指標を基に記載】

12の指標において「概ね順調に推移」以上となっている。特に「学校給食の地産地消率」「外国人観光客宿泊客数」などが順調に推移している。一方で「市外からの企業誘致・市内の新增設企業数」については進捗が遅れている。

ソフト産業は、誘致施策に加えRuby City MATSUEプロジェクトによるITのまちとしてのブランディング効果もあり、堅調に進んでいると言えるが、製造業は市外からの新規立地に苦戦している状況。

また、若者の雇用については、学生に有利な売り手市場の中、県外企業からの求人も増加し県外への流出が増えてきている。

観光分野では、外国人宿泊客数は伸びてきており、官民挙げた取り組みが一定の成果をあげているものと考えられる。一方、観光宿泊客数は伸び悩んでいる。

<目標達成に向けた取り組みの進め方>

●企業誘致については、立地支援制度に加え雇用に関する支援制度、医療福祉・自然環境など生活面での情報も含め、松江市での立地の優位性をさらにPRしていく。

●就活期の学生からは、地元企業の情報が少ないとの意見があり情報がしっかりと届いていない。就活期のみならず低学年時から地元企業の情報を提供する取り組みを行うとともに、教員や保護者に対しても情報を届ける取り組みを行う。

●新規就農については、新たに施設野菜での農業経営を開始した企業があり雇用就農者が増加した。今後も県やJA等との連携を密にし就農希望者へのきめ細やかな支援を行い、研修中の就農希望者を確実に就農につなげるよう努めるとともに、雇用や研修を受け入れる先進農家や法人の確保にも努める。

●観光産業については、松江城周辺のライトアップの常設化など夜の魅力創出に取り組み、滞在時間の延長、宿泊客の増、観光消費の拡大に繋げる。

●また、圏域インバウンド機構、山陰インバウンド機構、島根県、山陽方面の各自治体との連携によるプロモーション強化、米子空港へのソウル便増便、広島-松江間の高速度バスワンコイン化による利用者増などにより増加傾向にある。多様化する個人の外国人観光客の対応したプロモーション活動が必要となる。また、山陽方面との縦軸ルートを確立するために交通の利便性向上を図っていく。

松江市総合計画(2017~2021)基本施策の目標指標一覧・第1次総合戦略(2015~2019)数値目標・KPI一覧

総合計画 基本目標:個性の発揮と広域連携で輝く								
基本施策	指標項目	指標の説明	策定時	平成28年度	平成29年度	平成30年度実績	H30年度評価	目標値R3年度
きらりと光る元気な企業・事業者を育てる	市内企業へ就職する生徒・学生数	市内の高校、専修学校、高等教育機関の卒業生の地元就職数(延べ数)/年度	632人(H25~H27平均)	658人	653人	601人	B	延べ3,475人(平均695人/年)
	誘致・新増設企業数	市外からの企業誘致・市内企業の新増設企業数(延べ数)/年度	10件(H27)	8件	6件	6件	C	延べ50件(平均10社/年)
	新規雇用計画数	立地計画の新規雇用計画数(延べ数)/年度	148人(H27)	132人	70人	180人	A	延べ740人(平均148人/年)
	創業支援事業による起業・創業者数	市の創業支援計画による起業・創業者の合計/年度	79者(H27)	105者	147者	179者	A	100者以上
	中心市街地商店街の営業店舗数	中心市街地の12商店街で営業している店舗数/年度	407店舗(H27)	400店舗	403店舗	384店舗	B	407店舗
地域と食を支える農林水産業の振興	農林業生産額	農林業生産額の合計/1~12月	49億円(H27)	49億円(H27)	57億円(H28)	54億円(H29)	A	53億円
	水産業漁獲高	水産業漁獲高の合計/1~12月	41億円(H27)	42億円	43億円	41億円	A	41億円
	第1次産業新規就業者数	年間農林水産業への新規就業者数の合計(延べ数)/年度	27人(H23~H27平均)	32人	52人	41人	A	134(年平均27)人
地域が元気になるしくみづくり	地域産業資源を生かした商品・サービスの開発数	「中小企業地域資源活用促進法」等に關連する、地域産業資源を生かした商品・サービスを開発件数(延べ数)/年度	10件(H27)	4件	延べ6件(H28~H29)	延べ7件(H28~H30)	C	延べ25件(5年間の累計)
	学校給食の地産地消率	学校給食で使用する野菜のうち松江市で必要量が栽培可能な品目(たまねぎ・きゅうり・白菜・大根・さつまいも・かぶ・きゅうり・ほうれん草)における使用割合(重量ベース)/年度	29.7%(H27)	33.1%	35.3%	45.5%	A	40%
観光文化産業の魅力向上とインバウンド強化	観光入込客数	観光施設・イベント等の入込客数/1~12月	1,006万人(H27)	1,026万人	998万人	974万人	B	1,100万人
	観光宿泊客数	市内宿泊施設の延べ宿泊客数/1~12月	209万人(H27)	210万人	209万人	203万人	B	250万人
	外国人観光客入込客数	観光施設への外国人入込客数/1~12月	8.7万人(H27)	9.2万人	11.7万人	12.8万人	B	20万人
	外国人観光宿泊客数	外国人の市内宿泊施設の延べ宿泊客数/1~12月	4万人(H27)	4.7万人	5.5万人	7.5万人	A	10万人
中海・宍道湖・大山圏域の連携推進	圏域人口	5市(米子市・境港市・松江市・出雲市・安来市)の総人口	66.0万人(H27)	65.2万人	65.0万人	64.8万人		65.4万人
	圏域への観光入込客数	5市(米子市・境港市・松江市・出雲市・安来市)の年間観光入込客数/1~12月	2,865万人(H26)	2,827万人	2,745万人	2,721万人		3,870万人
	圏域での外国人宿泊客数	5市(米子市・境港市・松江市・出雲市・安来市)の年間外国人宿泊客数/1~12月	5.6万人(H26)	9.4万人	11.7万人	12.9万人		11.2万人
	山陰いいものマルシェ来場者数(3年間累計)	山陰いいものマルシェの来場者数/年度	(新規のため現状値なし)	延べ8万人(2年間累計)	延べ10万人(H27~H29)	延べ8万人(H28~H30)		延べ15万人(3年間累計)
	ビジネスマッチング商談件数(延べ件数)	ビジネスマッチング商談・展示会における商談件数(延べ数)/年度	301件(H26)	延べ984件	延べ1,695件(H27~H29)	延べ2,346件(H27~H30)		延べ1,800件

総合戦略 基本目標:地域資源を活用し、個性豊かで強靱な産業を創り上げ、安定した雇用を創出する								
重点プロジェクト	数値目標KPI	目標・KPIの説明	策定時	平成28年度	平成29年度	平成30年度実績	H30年度評価	目標値R1年度
雇用創出数 ※新増設・企業誘致に伴う雇用者数		企業の新増設、企業誘致に伴う雇用者数	828人(H22~H26)	280人増(H27~H28)	350人増(H27~H29)	530人増(H27~H30)	A	581人増(H27~H31)
一次産業新規就業者数		一次産業(農業、林業、水産業)に従事する新規就業者	127人(H22~H26)	59人増(H27~H28)	111人増(H27~H29)	152人増(H27~H30)	A	156人増(H27~H31)
①きらりと光る元気な企業群づくりプロジェクト	カイゼン活動取組開始企業数	ISO9001・ISO14001の認証を促進し、カイゼン活動の取組を開始した企業数	(新規のため現状値なし)	延べ2社	延べ6社 4社	延べ9社	A	延べ8社
	設備導入支援利用企業数	製造業の中小企業者が受注の拡大、新規製品開発のために必要な工作機械やソフトウェア等の購入を支援する制度=設備導入支援事業補助金を利用した件数	延べ67社	延べ69社 66社	延べ94社	延べ130社	A	延べ150社
	開発スタートアップ取組件数	企画・設計から試作開発までを対象とした「開発スタートアップ支援事業」の利用件数	(新規のため現状値なし)	延べ1製品	延べ3製品	延べ3製品	D	延べ15製品
	実用化・商品化件数	試作開発後の実用化・製品化に向けた取組を支援する「実用化製品化支援事業」の利用件数	(新規のため現状値なし)	延べ2製品	延べ3製品	延べ4製品	A	延べ5製品
②農林水産業の成長産業化プロジェクト	農林水産生産額	農林水産生産額	61億円(H23)	91億円(H27)	99億円(H28)	97億円(H29)	A	94億円
	新商品・新サービスの品目数	地域資源を活かした新商品・新サービスの品目数	39件(H26)	51件	57件	69件	A	60件
③観光産業のバージョンアップ・インバウンド強化プロジェクト	観光入込客数	市内観光入込客数	960万人(H26)	1,026万人	998万人	974万人	B	1,100万人
	観光宿泊客数	市内観光宿泊客数	222万人(H26)	210万人	209万人	203万人	B	250万人
	外国人観光入込客数	市内外国人観光入込客数	5.1万人(H26)	9万人	11.7万人	12.8万人	B	15万人
	外国人観光宿泊客数	市内外国人観光宿泊客数	2.3万人(H26)	4.7万人	5.5万人	7.5万人	A	7万人
総合戦略 基本目標:中海・宍道湖・大山圏域の連携強化により、日本海側の拠点を創る								
圏域人口	中海・宍道湖・大山圏域人口	66.0万人(H27)	65.2万人	65.0万人	64.8万人			65.4万人
圏域への観光入込客数	圏域への観光入込客数	2,865万人(H26)	2,827万人	2,745万人	2,721万人			3,870万人
圏域での外国人宿泊客数	圏域での外国人宿泊客数	5.6万人(H26)	9.4万人	11.7万人	12.9万人			11.2万人
山陰いいものマルシェ来場者数	山陰いいものマルシェ来場者数	(新規のため現状値なし)	延べ8万人(2年間累計)	延べ10万人(H27~H29)	延べ8万人(H28~H30)			延べ15万人(3年間累計)
ビジネスマッチング商談件数	中海・宍道湖・大山圏域内企業とのビジネスマッチング商談件数	301件(H26)	延べ984件	延べ1,695件(H27~H29)	延べ2,346件(H27~H30)			延べ1,800件

総合計画・総合戦略目標指標総括表③

総合計画	基本目標：誇りと愛着を生む ●自然環境・歴史・文化を生かしたまちづくりの推進 ●松江の魅力高める環境・都市デザインの推進 ●人材還流と松江暮らしの推進
総合戦略	基本目標：松江の魅力に磨きを掛け、新しい人の流れをつくる ●産学官拠点化推進プロジェクト ●ふるさと人材育成・学力向上プロジェクト ●人材還流・松江暮らし推進プロジェクト

■平成30年度実績

種別	指標数	評価A	評価B	評価C	評価D	評価できないもの
総合計画	12	4	3	1	0	4
割合	100%	33.3%	25.0%	8.3%	0.0%	33.3%
総合戦略	11	2	5	2	1	1
割合	100%	18.2%	45.5%	18.2%	9.1%	9.1%

【評価】 A：順調に推移

B：概ね順調に推移

C：やや遅れている

D：遅れている

※実績値を集計中、あるいは隔年で数値を把握しているものなどは、今年度の評価ができないため、「評価できないもの」として分類した

<概況>【総合計画の指標を基に記載】

7つの指標において「概ね順調に推移」以上となっている。特に「松江歴史館入館者数」や「伝統美観保存地区等修景事業補助件数」などが順調に推移している。「ファンクラブ会員数」は、平成30年度から事業に着手したところであり、参考指標として松江にゆかりのある方への手紙の発送人数とした。

社会増減については、目標（社会増270人/年）には依然として届いていない状況であり、更なるUターン促進を図る必要がある。

松江独自の景観やまちなみの整備などを引き続き行うことで、松江の魅力高めるまちづくりを進め、松江に対する誇り・愛着が醸成することによって転出を抑制し、社会増につなげていくことが重要である。

<目標達成に向けた取り組みの進め方>

●ふるさと人材育成に向け、全ての市立中学校でRubyを用いたプログラミング教育を実施。令和3年度からの新学習指導要領に対応したカリキュラムの検討を民間との連携により行っていく。

●Uターン者数は前年度より減少した。島根県全体も同様の状況である。人出不足から都会地の企業の採用活動が活発になっていることが影響している。住みやすさや市の魅力を市内外に効果的にPRするためのシティプロモーションを展開するとともに、将来的な松江への移住にもつながる関係人口の創出・拡大を図る。

●本市の関係人口増加に向けて令和元年度に「松江ファンクラブ」を創設。併せて、スマートフォンアプリを活用した会員登録や情報発信の充実を図る。

●松江城天守登閣者数は大きく減少した。国宝化効果を落ち着かせないためにも、本年実施予定のAR/VR事業でインバウンド向けも含めたスマホでの新しい松江城の見せ方を提供するとともに、国宝5周年で実施予定の「松江城城攻め」、さらにライトアップの充実をプロモーションに活かしていく。また、県民会館駐車場へのスムーズな誘導策の実施や、大手前乗船場待合所の観光案内拠点化事業を通じて塩見縄手への周遊につなげる。

松江市総合計画(2017~2021)基本施策の目標指標一覧・第1次総合戦略(2015~2019)数値目標・KPI一覧

総合計画 基本目標: 誇りと愛着を生む								
基本施策	指標項目	指標の説明	策定時	平成28年度	平成29年度	平成30年度実績	H30年度評価	目標値R3年度
自然環境・歴史・文化を生かしたまちづくりの推進	松江に愛着を持つ市民の割合	中学生、高校生、大学生、市民アンケートにおいて「とても思う」「やや思う」と回答した割合	73.5% (H28)	73.5%	中71% 高71% 大81% 市89% (平均78%)	—	—	80%
	リサイクル率(県庁所在自治体順位)	リサイクル率(ごみ処理量に対する資源化量の割合)の県庁所在自治体順位/年度	29.6% (H27)	28.4% 3位	29.4% 3位	—	—	34% 1位
	松江城天守登閣者数	松江城天守の登閣者数/年度	480,000人 (H28実績見込値)	500,621人	463,066人	418,010人	B	480,000人
	松江歴史館入館者数	有料、無料問わず松江歴史館施設全体の入館者数/年度	200,000人 (H28実績見込値)	196,915人	191,444人	200,168人	A	200,000人
	歴史的建造物登録件数	歴史的建造物の登録件数/年度	0件 (H27)	延べ3件	延べ8件	延べ11件	C	延べ33件
	松江歴史館児童・生徒団体利用件数	児童・生徒の団体が松江歴史館を利用した件数/年度	110件 (H27)	111件	111件	106件	B	130件
松江の魅力高める環境・都市デザインの推進	景観計画重点区域指定数(延べ数)	景観計画に定める重点区域の指定区域(延べ数)/年度	延べ4箇所 (H27時点)	延べ5箇所	延べ6箇所	延べ6箇所	A	延べ7箇所
	伝統美観保存区域等修景事業補助件数(延べ件数)	伝統美観保存区域等修景事業費補助金交付要綱に基づき交付した補助件数(延べ数)/年度	延べ35件 (H27時点)	延べ38件	延べ43件	延べ45件	A	延べ53件
	中心市街地の水辺が利用しやすいと感じる人の割合	市民アンケートにおいて「利用しやすい」「どちらかといえば利用しやすい」と回答した割合	47.6% (H27)	—	47.0%	—	—	70%
	山陰自動車道整備率	山陰道島根県内延長193.6kmに対する供用開始延長/年度	56% (H27)	59%	62%	67%	A	67%
人材還流と松江暮らしの推進	Uターン者数	転入時アンケートで「県外から転入し5年以上居住する意思がある」と回答した人(延べ数)/年度	1,383人 (H27)	1,333人	1,253人	1,195人	B	延べ7,915人 (平均1,583人/年)
	まちづくりに参加する学生の割合	学生アンケートにおいて「地域活動に参加した経験がある」と回答した割合	55% (H27)	—	71.7% 70.0%	—	—	80%

総合戦略 基本目標: 松江の魅力に磨きを掛け、新しい人の流れをつくる								
重点プロジェクト	数値目標KPI	目標・KPIの説明	策定時	平成28年度	平成29年度	平成30年度実績	H30年度評価	目標値R1年度
	Uターン者数	Uターン者数 ※転入時アンケート	(新規のため現状値なし)	1,333人	1,253人	1,195人	C	1,583人/年
	まちづくりに参加する学生の割合	まちづくりに参加する学生の割合 ※学生アンケート調査	55% (H27)	—	71.7% 70.0%	—	—	80%
	市内企業へ就職する生徒・学生数	高校生	3か年平均:250人 (H25.3~H27.3)	265人 (H27~H28 平均237人)	256人 (H27~H29年 平均243人)	206人 (H27~H30年 平均234人)	B	高校生:275人/年
		大学生等	3か年平均:364人 (H25.3~H27.3)	393人 (H27~H28 平均403人)	397人 (H27~H29年 平均401人)	395人 (H27~H30年 平均400人)	B	大学生等:400人/年
④産学官拠点化推進プロジェクト	誘致・新増設企業数	市内へ誘致した企業数、新増設をした企業数	45社 (直近5年間)	延べ18社	延べ24社	延べ30社	B	延べ45社 (直近5年間)
⑤ふるさと人材育成・学力向上プロジェクト	全国学力・学習状況調査(小6、中3)における全国平均値以上の調査項目数	全国学力・学習状況調査(小6、中3)における全国平均値以上の調査項目数	30% (H27)	67.9%	65% 70.7%	65%	C	100%
	家庭学習が1日1時間以上ある児童生徒の割合	家庭学習が1日1時間以上ある児童生徒の割合(小6・中3)	小6:62.4% 中3:54.1% (H27)	小6:68.0% 中3:52.5%	小6:69.9% 64.5% 中3:62.6% 58.2%	小6:69.9% 中3:62.6%	B	小6:80% 中3:80%
	Rubyを用いた授業を受けた中学生の延べ人数	Rubyを用いた授業を受けた中学生の延べ人数	1,846人 (H24~H27)	延べ3,663人	延べ6,980人 5,374人	延べ6,980人	A	延べ8,700人
⑥人材還流・松江暮らし推進プロジェクト	ファンクラブ会員数	ファンクラブ会員数 (市民以外で松江を応援するファン) ※ファンクラブについては平成30年度から取り組みを始めているが、これまでも松江にゆかりのある方に手紙等による情報発信を行っているため、参考値として実績に記載する。	(新規のため現状値なし)	(参考値) 1,177人	(参考値) 1,300人	(参考値) 1,448人	D	延べ1万人
	Uターン支援者数 ※市の支援を受けたUターン者数	Uターン支援者数 ※市の支援を受けたUターン者数	130人 (直近5年間)	延べ103人	延べ157人 (H27~H29)	延べ212人 (H27~H30)	A	延べ170人 (直近5年間)
	地元企業への就職件数※松江公共職業安定所が紹介し、就職に至った述べ件数(パート含む)	地元企業への就職件数 ※松江公共職業安定所が紹介し、就職に至った述べ件数(パート含む)	26,628件 (直近5年間)	延べ9,957件	延べ14,789件 14,786件 (H27~H29)	延べ19,556件 (H27~H30)	B	延べ27,959件 直近5年間

総合計画・総合戦略目標指標総括表④

総合計画	基本目標：安心・安全なまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ●健康都市まつえの推進 ●地域で支え合う福祉体制づくり ●安全に安心して生活できる環境づくり ●今ある社会資本の活用と必要な社会資本の整備 ●時代に適応した効果的で効率的な行財政運営
総合戦略	基本目標：時代に合ったまちをつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する <ul style="list-style-type: none"> ●健康都市まつえ・安心安全なまちづくりプロジェクト ●松江の魅力をもつ環境・都市デザイン推進プロジェクト

■平成30年度実績

種別	指標数	評価A	評価B	評価C	評価D	評価できないもの
総合計画	19	6	10	1	0	2
割合	100%	31.6%	52.6%	5.3%	0.0%	10.5%
総合戦略	10	2	4	1	2	1
割合	100%	20.0%	40.0%	10.0%	20.0%	10.0%

【評価】A：順調に推移

B：概ね順調に推移

C：やや遅れている

D：遅れている

※実績値を集計中、あるいは隔年で数値を把握しているものなどは、今年度の評価ができないため、「評価できないもの」として分類した

<概況>【総合計画の指標を基に記載】

16の指標において「概ね順調に推移」以上となっている。特に「健康寿命」や「認知症サポーター数」「水道管路耐震化率」などが順調に推移している。一方で「橋梁修繕数」については進捗がやや遅れている。

認知症サポーターについては、講座への参加者も増えており認知症への関心が高まっている。ボランティアを希望するサポーターが公民館行事や認知症カフェなどの交流の場を通じて関わっていただくことで、地域の互助が推進されることが期待される。

橋梁の修繕については、橋梁ごとに劣化の原因や修繕方法が異なるため修繕費が高額になる傾向があり、進捗に影響を与えている。

安心して安全に暮らすことのできる松江を実現し、市民が「住みやすさ」を実感するためには、適切な行財政運営を行うことはもとより、まちの基盤となるインフラ整備や市民の健康づくりを引き続き推進していくことが必要である。

<目標達成に向けた取り組みの進め方>

●健康寿命は目標に向けて順調に推移している。健康づくりに関して、健康まつえ応援団やヘルスボランティア協議会等とともに壮年期世代が取り組みやすい運動習慣の啓発や企画を実施する。また、高齢者に適した体操等の啓発をすることで、運動習慣を持つ人を増やしていく。

●平成30年3月に策定した「都市マスタープラン」において、公共交通網をまちの骨格に位置付けるとともに、市全域に「定住促進の中核」、「雇用創出の中核」を配置し、将来にわたって誰もが生まれ育った地域に住み続けることができる持続可能なまちづくりを目指していく。

●自主防災組織については、地域で防災活動を行うために、防災知識に詳しくリーダー的存在で活動をけん引していく人材が必要である。防災士資格の取得希望者を支援し、スキルアップを図り地域防災指導員として活動の裾野を拡げていく。さらに、自主防災組織の必要性を説明することで自主防災組織の結成につなげていく。

●道路・河川愛護団については人口減少・高齢化などを理由に継続的に活動できるか懸念される状況が出てきている。道路愛護団制度を引き続きPRするとともに、自治会以外の団体への新規登録の推進を図る。

●市の行財政運営について、実質公債費比率や地方債残高などの財政数値は概ね順調に推移している。安心・安全な暮らしを守るため、健全な財政運営に努め、適切に行政サービスを提供していく。

松江市総合計画(2017～2021)基本施策の目標指標一覧・第1次総合戦略(2015～2019)数値目標・KPI一覧

総合計画 基本目標:安心・安全なまちづくり								
基本施策	指標項目	指標の説明	策定時	平成28年度	平成29年度	平成30年度実績	H30年度評価	目標値R3年度
健康都市まっすえの推進	健康寿命(65歳平均自立期間)	65歳から数えて、介護を必要とせず、自立して健康で生活できる期間/年度	女性 21.03年 男性 17.60年 (H28)	女性 21.03年 男性 17.60年	女性 21.16年 男性 17.78年	女性 21.10年 男性 17.83年	A	女性 21.21年(H34) 男性 17.93年(H34)
	国保特定健診受診率	国民健康保険加入者の健診受診率/年度(法定値)	45.6% (H27)	44.3%	44.8%	45.8%	B	60%
	健康づくりに取り組んでいる市民の割合	週1回以上運動やスポーツ(ウォーキングや体操なども含む)をしている市民の割合	33.8% (H28)	33.8%	34.3%	—	—	40%
地域で支え合う福祉体制づくり	多職種連携会議の実施箇所数	市内の各日常生活圏域エリアごとに開催される医療・介護・福祉などの多職種で開催される連携会議の実施箇所数/年度	0箇所 (H27)	5箇所	5箇所	7箇所	A	6箇所
	高齢者クラブ会員数	松江市高齢者クラブ連合会の会員数/毎年4月1日	13,456人 (H27)	13,287人	12,922人	12,574人	B	14,000人
	認知症サポーター数累計	認知症サポーター養成講座の受講者数/年度	14,846人 (H27)	16,487	17,853	19,782	A	24,000人
	要配慮者支援組織数	要配慮者支援組織とは、要配慮者(高齢者や障がいのある方が、住み慣れた地域で、いつまでも安心・安全に暮らしていくために平常時から地域での「共助」の支え合いの仕組みを作るために結成する組織。	136組織 (H27)	148組織	157組織	178組織	B	350組織
安全に安心して生活できる環境づくり	住みやすさの実感割合	市民アンケートにおいて「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した割合	90% (H27)	—	84%	—	—	95%
	消防団員の充足率	条例定数(2,255名)に対する消防団員の実数の割合/毎年4月1日	93.4% (H27)	93.4%	93.5%	92.5%	B	100%
	自主防災組織の結成率	自主防災組織の結成率/年度	70.7% (H27)	71.5%	70.9% 71.1%	71.5%	B	100%
	交通事故発生件数	松江市内における交通事故発生件数(高速度道路含む)/1～12月	526件 (H27)	478件	455件	374件	B	360件
今ある社会資本の活用と必要な社会資本の整備	水道管路耐震化率	耐震性を満たした管路延長の総延長に対する割合	33%(H27)	34.0%	34.6%	35.7%	A	37.0% 39.0%
	橋梁修繕数	松江市道路施設長寿命化計画並びに橋梁長寿命化修繕計画で点検結果による劣化損傷が大きい判定で、健全度Ⅲ・Ⅳの対象橋梁となったもの	10橋 (H24～H27累計)	延べ13橋	延べ17橋	延べ25橋	C	延べ84橋
	道路愛護団数	道路愛護活動に参加される団体の数/年度	242団体(H27)	248団体	251団体	251団体	B	280団体
	河川愛護団数	河川愛護活動に参加される団体の数/年度	153団体(H27)	158団体	158団体	155団体	B	160団体
時代に適応した効果的で効率的な財政運営	実質公債費比率	借入金(地方債)の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す。比率が18%以上になると、起債にあたり許可が必要になる	15.1%(H28)	15.1%	14.6%	13.9%	B	11.3%
	将来負担比率	一般会計などの借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化している。比率が高いと、単年度の標準的な財政規模に比べて将来の負担が大きくなることを意味する	119.9%(H28)	119.9%	108.8%	90.8%	A	93.4% 74.2%
	地方債残高	一般会計が借りている借入金の残高	1,206億円(H28)	1,206億円	1,158億円	1,113億円	A	1,080億円 1,061億円
	財政調整基金・減債基金残高	財政調整基金:予測し得ない収入の減少や支出の増加などに備えて積立てる基金 減債基金:地方債の償還を計画的に行うために積立てる基金	54億円(H28)	54億円	50億円	50億円	B	52億円

総合戦略 基本目標:時代に合ったまちをつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する								
重点プロジェクト	数値目標KPI	目標・KPIの説明	策定時	平成28年度	平成29年度	平成30年度実績	H30年度評価	目標値R1年度
	住みやすさの実感割合	住みやすさの実感割合 ※市民アンケート調査(住みやすい、どちらかといえば住みやすい)	90% (H27)	—	84%	—	—	95%
	健康寿命(65歳平均自立期間)	健康寿命(65歳平均自立期間) ※国民生活基礎調査に基づき算出	女性 20.94年 男性 17.24年 (H20年度)	女性 21.03年 男性 17.60年	女性 21.16年 男性 17.78年	女性 21.10年 男性 17.83年	A	女性 21.15年 男性 17.78年
健康都市まっすえ・安心安全なまちづくりプロジェクト	受診率(国保特定健診)	受診率(国保特定健診 実績値)	47.5% (H26)	43.7%	50.0%	50.5%	B	60%
	国民健康保険給付費(医療費)	国民健康保険給付費(医療費)	137億円 (H26)	138億円	137億円	136.1億円	B	134億円
	福祉ボランティアポイント登録数	ボランティア受入施設(介護施設)においてボランティア活動を行うことを登録した65歳以上の市民 【算出方法】平成30年度の見込みを踏まえ、年間概ね50人増加すると見込み算出。	(新規のため現状値なし)	—	96人	123人	C	200人
	要配慮者支援組織設置数	各地域の実情に応じて防災や福祉等の関係者や組織が連携し、平常時から地域での「共助」の支え合いの仕組みを作ることを目的とする支援組織。松江市全世帯数に対する要配慮者支援組織が活動範囲としている地域の世帯数の割合。	108組織 18.9% (H26)	148組織 世帯組織率22.4%	157組織 世帯組織率26%	178組織 世帯組織率36.7%	B	280組織 世帯組織率48%
松江市の魅力高める環境・都市デザイン推進プロジェクト	人口集中地区内の人口密度	人口集中地区内(DID)の人口密度	48人/ha	48人/ha	48人/ha	48人/ha	A	48人/ha
	路線バス・コミュニティバス利用者数	路線バス・コミュニティバス利用者数	495万人 (H26)	488万人	489万人	479.8万人	B	500万人
	歴史的建造物登録認定数	松江市歴史的建造物登録認定制度での登録認定数	(新規のため現状値なし)	延べ3件	延べ8件	延べ11件	D	延べ40件
	空き家バンクの成約件数	空き家バンクの成約件数	12件	延べ39件	延べ47件	延べ53件	D	延べ108件